

アフリカ柔道連盟（AJU）

在エチオピア日本国大使館

エチオピアでは、1961年にアフリカ柔道連盟(AJU)が発足して以降、他のアフリカ諸国とは異なり柔道は普及せず、AJU設立50年後の2011年になって、国際柔道連盟(IJF)に所属するドイツ人柔道家の活動により初めて国際規格のJUDOが開始されました。

1964年に五輪の正式種目(女子は1992年)に採用され、現在では200以上の国と地域がIJFに加盟し、柔道をする人(プレイヤー)を“Judoka”と訳するなど、世界的に柔道が広まっていますが、現在、AJUに登録されているエチオピア人選手は3名であり、他の柔道が盛んなアフリカ諸国に比べて、極端に少ないです。また、エチオピア人選手は、金銭的事情により、アフリカ近隣諸国などで開催される大会への出場すら叶わないのが実情であります。

現在、IJFはじめエチオピア人選手や当地在留の外国人有志により柔道普及活動を兼ねた道場が運営されるなど、着実に柔道が普及しつつあります。

予算、人材、環境の全てが不足している当地で、ようやくではありますが今まさに柔道が根付こうとしており、エチオピア柔道の未来は彼らの活躍にかかっています。

【関連情報】

(1) アフリカ柔道連盟(AJU) HP

<http://www.africajudo.org/>

(2) 2018年8月、エチオピアにおける柔道振興のための柔道用畳の引き渡し式を開催。

<https://www.et.emb-japan.go.jp/files/000391916.pdf>

(3) 2018年11月、IJF及び当地の有志柔道家らによる柔道大会を開催。(在エチオピア日本国大使館が後援名義を付与)

<https://www.et.emb-japan.go.jp/files/000424492.pdf>